



syoun
絆



地域がん診療連携拠点病院・基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院・地域医療支援病院・災害拠点病院・熊本DMAT指定病院・救急指定病院

理念 135年の歴史と設立の経緯を忘れず全人医療を提供します

基本方針

患者中心医療

患者の人権と意思を尊重します

患者診療3本柱

がん・救急・予防医療を中心に
医療機能の充実を図ります

完結型医療

地域の医療機関との連携を行い
安心できる医療の展開を行います

社会貢献

災害医療派遣・医療情報公開・医療
ボランティアの活動を行います

医療人育成

医療に携わる喜びが持てる医療人の
育成を行います

開院 140 周年記念パーティー 開催



木村病院長



JCHO 尾身 茂 理事長



月足 さおりさん



混声合唱 コール アイダさん



病院の歴史紹介

平成 30 年 10 月 13 日（土）に清流山水花 あゆの里にて JCHO 人吉医療センター開院 140 周年記念パーティーを開催しました。

混声合唱団コールアイダによる「ふるさと」と「くまがわ」の素晴らしい合唱に始まり、木村正美院長、尾身茂 JCHO 理事長、山村正統球磨郡医師会長、中原正弘人吉市歯科医師会長、人吉市長、伊佐市長、えびの市長、地域協力会の大瀬 敏克様と、多くの方に祝辞を頂き、人吉医療センターが地域の皆様に支えられて 140 周年を迎えることのできたことを、改めて感じることができました。

また、下川副院長から住民の寄付による当院の設立の経緯と 140 周年を迎えるまでの歴史を懐かしい写真を使って紹介があり、古くから住民に必要とさ

れ、地域に根ざした当院で働くことの喜びと責務に身が引き締まる思いでした。

会の終盤には先天性脊髄空洞症を抱えながら音楽活動を続けておられる、あさぎり町の月足さおり様のピアノ演奏をいただき、片腕で演奏されているとは思えない巧みな、澄み切った演奏に心を洗われ、新たな歴史に向け、心あらたにスタートを切る決意を胸に、会は盛会のうちに終了しました。

当院は、今後も住民の皆様が安心して暮らせるために信頼できる医療機関を目指し、精進してまいりますので、よろしく願いいたします。

医療福祉連携室 南 秀明

災害実動訓練に参加して

9月23日、当院において行われた災害実動訓練に参加し、想定されるトリアージ、医療、看護の実際について患者目線に立ち、知ることが多くありました。

私は、急性硬膜下血腫による緑タグから赤タグに急変する患者設定でした。急変後は、素早い医師への報告、観察、赤エリアへの搬送というスタッフ間の連携がありました。患者役からすると実際に目で確認できない周囲の環境、目を開けても自分と同じように苦しむ患者が隣に並んでいるのを目の当たりにす

ると不安な面もありましたが、ベッドサイドに付き添い声をかけてくれるスタッフの声に安心感はとても大きかったです。

いつ、どこで、発生するか分からない災害に備え、平時から災害について考え、このような訓練を行うことは大切だと改めて感じました。

また、災害が発生した場合は限られた人材・物資の中で一人でも多くの負傷者の力になれるよう自分の身を守りながら看護職者の一員とした行動をとっていきたいと思います。

5階病棟 看護師 藤井 梨未



赤エリア



トリアージエリア



人吉医療センターDMAT



黄エリア

病院フェスティバルを終えて

9月23日(日)第11回JCHO医療センターフェスティバルを開催し、初めて実行委員を務めさせてもらいました。今回実行委員として外回りの役割で餅つきをさせていただきました。子供たちが重い杵を持ち楽しそうに餅をついていて心が和みました。その餅を自分たちが丸め、配ることでおいしく食べてもらったのがとてもよかったと思いました。反省点としては実行委員として積極的に自ら参加していなかったのでは何かできるのではないかと思いました。

自分が担当したブースは肺機能についてです。肺機能が悪くなるとうなるかをポスターにまとめ、実際の肺がんの細胞を顕微鏡で見てもらいました。また、肺活量検査してもらい自分の肺活量がどのくらいあるか体験してもらい楽しんでもらいました。反省点としては肺活量検査するのにコストがかかったことです。数人しかできなかったのでは何人か断ってしまいました。

様々な講演やたくさんのブース、くまモンの登場などで盛り上がっていて私自身もとても楽しめました。

臨床検査部 田中 幸樹



オベ体験



県薬剤師会 モバイルファーマシー



一中吹奏楽部

開院140周年記念 特別講演



特別講演 岐部 明廣先生

今回、病院フェスティバル内で開催しました、開院140周年記念特別講演に、医療法人 外山胃腸病院 院長 岐部明廣先生より「明治維新時代からの人吉医療センター～肥後(熊本)から明治維新をみる～」と題しご講演賜り、院内外から80名近くの方が講演にお集まりいただきました。

明治維新(150年前)と当院開設(140年前)ともに歴史が近く、深い関わりもあることから、明治維新と幕末の志士に関し、スライドを使った貴重な講演をして頂きました。改めて長い歴史を実感するとともに、岐部先生の博識に驚きながら、講座を拝聴しました。お忙しい中、岐部先生には貴重なお話を頂き、感謝申し上げますとともに、これからも地域に根ざした住民の皆様へ信頼される医療機関を目指し、職員一同努めて参りたいと思います。

五木診療所所長 就任挨拶



みなさんこんにちは。今年10月より五木診療所所長として赴任しました永田洋介と申します。自治医科大学を卒業後、熊本赤十字病院で初期研修を行い、上天草総合病院の勤務を経てこちらに着任致しました。

私の出身は人吉・球磨地方で、小さい頃より地域医療に関わる機会が多く、地域ならではの「人の温かさ」や「人との繋がり」を大切にしながら医療を行うことを日々心掛けております。

自身の専門領域としては、総合診療科(General Practice)、総合診療医(General Practitioner, Generalist)を目指しております。

自分自身が総合診療医としての役割を100%果たしているとはまだまだ思っておりませんが、出来る限り患者様に対して多角的なアプローチ、理想の総合診療医に近づけるように日々努力している次第です。

まだまだ若輩者で至らない点も多々あるとは思いますが、これからもどうぞよろしくお願ひ致します。

総合診療科 永田 洋介

認定歯科衛生士取得！

認定歯科衛生士とは、特定する専門分野において高度な業務実践の知識・技能を有すると認められた歯科衛生士のことです。日本歯周病学会の認定歯科衛生士制度は平成17年に発足し、平成30年4月1日までに1,090名の認定歯科衛生士が誕生しています。

今回、当院歯科口腔外科センターの歯科衛生士 松永千恵氏が、第3回日本歯科麻酔学会認定歯科衛生士審査に首席合格し「最優秀賞」に選ばれ、認定歯科衛生士として承認されましたので、ご紹介いたします。

歯科麻酔学会認定歯科衛生士最優良賞を受賞して

高齢者の方や有病者の歯科治療を行っていくうえでは、全身管理の知識を身につけ、チーム医療に参加できる知識と技能を有する歯科衛生士が必要であり、私もその一員になりたいという思いから、この試験を受験しました。

認定試験を受ける前は、私にできるだろうかという不安が強くありました。実際に準備を進めていく中で、育児をしながらの試験勉強は、思ったように時間が取れず大変苦戦しました。過去問がない中で挑んだ試験は、日々の診療を思い返しながら、落ち着いて受けることが出来ました。その結果がこのような形となり、素晴らしい環境にいる事が大変うれしく、感謝の気持ちでいっぱいになりました。合格通知と共に、最優良賞の通知が来たときには正直、何かの間違いではないかと半信半疑でした。今回この授賞式に参加して、貴重な経験をする事ができました。この気持ちを忘れず、資格を生かし患者さんの為、地域のために安心・安全な歯科治療が提供できるよう精進して参りたいと思います。

認定歯科衛生士 松永 千恵



インターンシップ

当院のインターンシップに参加した相良中学校の生徒さんから、感想を頂きましたのでご紹介させていただきます。



私は、職場体験をして初めて見る機械などがたくさんありました。担当者の方々がいろいろな所に連れて行ってくださったり、教えてくださったのでとても勉強になりました。知らないことがたくさんあったので知れて良かったです。私は、看護師の体験や他の科の体験ができてとても楽しかったです。高校や大学のこと、部活のことを聞いて下さったので緊張がとれました。これから看護師になるために勉強を頑張ります。そして優しい看護師になりたいです。

相良中学校 3年 赤池 未妃

私は、医療センターにきて思ったことは、みなさんがこの仕事を楽しんでいるなと思いました。そしてひとりひとりが輝いていたので私もやっぱり看護師になりたいと思いました。色々な体験をさせてもらえて、自分にとってとてもいい体験で学んだことを学校生活や日常生活に活かしていきたいなと思います。

お忙しい中、3日間お世話になりました。すごく楽しく学ぶことができました。

相良中学校 3年 中村 美琴

JCHO グループ病院での地域医療研修を終えて

2018年9月1日から9月29日まで北海道のJCHO 登別病院で地域医療研修に行ってきました。JCHO 登別病院は元々整形外科の病院でしたので整形外科の診療、回復期のリハビリテーションを主にしています。日頃から人吉で行なっている急性期治療を終えた回復期の患者の診療を行いました。普段見ることのできない転院先の病院での業務を行う貴重な経験が出来ました。また、医療資源や検査器具なども限られた中で当直も経験することができ勉強になりました。

北海道に到着してから4日後に胆振東部地震が発生し、登別市も震度5弱の揺れがありました。幸い病院には被害がありませんでしたが、ライフラインの復旧まで約1週間ほどかかり診療も制限されました。熊本地震と胆振東部地震を経験し災害時の医療の重要さも改めて実感することができ今後の診療に生かして行きたいと思いました。



臨床研修医 金光 紘介

研修修了挨拶



6月から9月までの4ヶ月間、地域医療研修を行わせて頂きました、研修医2年の川内健太郎です。まず、外部からきた私を快く受け入れてくださった院長先生はじめ先生方、わからないことだらけでご迷惑をおかけしたにもかかわらず支えて頂いた各病棟のスタッフの皆様、楽しく研修生活をともにした研修医のみんなに感謝申し上げます。医師として働き始めて初の院外研修で不安の中人吉医療センターでの研修を始めましたが、多くの皆様にサポートしていただき、研修終了するに当たっては人吉を離れることが名残惜しいほどに楽しい研修生活を送らせていただきました。地域医療ならではの転帰の考え方や医

療資源の分配など熊本市内では学べないことを多く経験でき、かけがえのない時間を過ごすことが出来ました。全研修の6分の1を人吉で過ごして、私の医師としての基盤の多くをつくっていただけたと感謝しています。人吉の雄大な自然と、おいしい料理と、スタッフの皆様会いにぜひまた人吉に伺いたいと思います(終了して1週間後にすぐに飲みに戻りました笑)。

医師としてさらに大きく成長してまた是非人吉医療センターで勤務出来るよう、努力して行きたいと思います。短い間でしたが、本当にお世話になりました。

済生会熊本病院 臨床研修医 川内 健太郎



1ヶ月間という短い期間でしたが、人吉医療センターの皆様には大変お世話になりました。今回は主に総合診療科での実習でしたが、田浦先生、平賀先生、早川先生には大変お世話になりました。救急外来にも日勤帯で何度か入りましたが、2ndに付いていただいた先生方には大変熱心に指導をしていただきました。また各科へのコンサルトのハードルが低く、やりやすい雰囲気でした。

用者が少ない、入院前ADLが高い元気な方が多い、重症化する前に医療機関を受診して紹介になっている、などというところが特徴だと感じました。地域全体で見て福祉や医療の目の行き届いた環境が出来ているのではないかと思います。勉強会が多く開催されており、地域の先生も参加し、質疑応答も熱がこもっていたのが大変印象に残りました。

この1ヶ月で経験したことフィードバックしてこれから頑張っていきたいと思います。本当にありがとうございました。

総合診療科の病棟や救急外来で見た患者様の背景を今までに実習してきた病院と比べると、年齢層が高め、介護施設利

熊本大学医学部附属病院 臨床研修医 池袋 雄太

風疹急増に関する緊急情報

県内で今年2例目の風しん患者発生！

風しんは、今年の夏頃から首都圏を中心に報告数が増加しており、2018年9月29日現在全国の風しん患者累積報告数は770人で昨年報告数の8倍となっています。

今後、県内においても感染が拡大する可能性があります。

特に、妊婦や妊娠を希望している方は、風しんにかからないように以下の点に注意しましょう。

感染予防

インフルエンザの流行期となりました。

毎年11月から翌3月までの期間の面会は、全病棟マスクの着用をご案内しております。また、面会希望の方には「健康状態のチェック」を行い、面会が可能か否か確認させていただきます。

今シーズンも、インフルエンザ感染防止対策にご協力をお願いします。

感染管理室 感染管理認定看護師 別府るみ

【風しんについて】

- ・風しんは、風しんウイルスにより起こる急性の発疹性感染症です。飛沫によりヒトからヒトに感染し、潜伏期間は2～3週間です。
- ・症状は、発熱、発疹、リンパ節の腫れなどで、発疹の出る数日前から発疹の出た数日後まで感染性があります。不顕性感染から重篤な合併症(脳炎、血小板減少性紫斑病)まで幅広い症状となります。
- ・風しんには特別な治療法はなく、症状を抑える対症療法になり、予防のためには予防接種が最も有効な方法です。

【風しんにかかっているかもと思った場合】

症状等から風しんが疑われる場合は、事前に医療機関に電話等で相談のうえ、マスクを着用して受診してください。

参考資料・熊本県医師会 熊医会報 FAX ニュース、国立感染症研究所 感染症疫学センター資料より抜粋

『いい医療に向かってGO!』医療安全推進週間について

「患者の安全を守るための共同行動」の一環として、各医療機関や医療関係団体等における医療安全への取組みの推進を図り、また、これらの取組みについて地域のみなさんの理解や認識を深めていただくきっかけとなることを目的として設けられています。

今年は平成30年11月25日(日)～12月1日(土)(毎年度11月25日(いい医療に向かってGO)を含む一週間)です。

当院では職員の医療安全活動はもとより、患者さんも医療安全の取組みに参加されること(患者参加型医療安全活動)を呼びかけています。ご協力をお願いします。

例えば

- ※患者さんもチーム医療のメンバーです。積極的に治療に参加しましょう。
- ※診察前、検査前、処方箋を受取る時などフルネームで確認します。
- ※検査結果は必ず確認しましょう。
- ※不安や疑問に思うことがあったら、必ずスタッフに確認しましょう。など

～JCHO 人吉医療センター「患者さんへ 受診時のお願い」より抜粋～



糖尿病予防月間

「11月は糖尿病予防月間です！

今回糖尿病を予防する食事についてご紹介いたします。

食べ物からとった糖質は、消化・分解されてブドウ糖となり、血液を通じて筋肉や臓器に運ばれます。糖尿病は、この血液中のブドウ糖の量（血糖値）が多くなり過ぎた状態が続く病気です。初期の頃、自覚症状はありませんが、放っておくと糖尿病は確実に進行します。

●糖尿病予防のポイントは量、質、バランスなど食事や食習慣の見直し！

現在の食生活についてあてはまる項目にチェックしてみましょう。自覚症状がなくても油断せず、早い時期から食事を見直しましょう！

□つい食べ過ぎてしまう

食べ過ぎと運動不足は肥満につながりやすく、血糖値を上げる要因になります。

□1日の食事回数が決まっていない

まとめ食いは血糖値の急激な上昇につながります。食事量のバランスをとって3食食べましょう。

□おやつを毎日食べる

エネルギーオーバーに注意！甘いお菓子などよりも果物や牛乳、ヨーグルトなどがおすすめです。

□夜遅くに食事をすることが多い

インスリンの分泌機能に負担がかかります。寝る2～3時間前までは食事をとりましょう。

□早食いの傾向がある

早く食べると、インスリンの分泌が血糖値の上昇に間に合いません。ゆっくりよく噛んで食べ、血糖値の上昇を抑えましょう。一口ごとに箸を置くとゆっくり食べられますよ。

□重ね食いをする

ラーメン+チャーハンなど炭水化物の多い食事を続けて食べるのは、血糖上昇につながります。

□毎日お酒をたくさん飲む

アルコールは、エネルギーが比較的高く食欲を増進する働きもあるので注意。まずは1日/週から休肝日を作ってみましょう。

□野菜が苦手、ほとんど食べない

低エネルギーでビタミンや食物繊維が豊富な野菜は、糖尿病を予防するバランスの良い食事に欠かせません。



↑当院で糖尿病の患者様に提供しているエネルギーコントロール食

栄養管理室 管理栄養士 北岡 志織

連携施設 探訪

当院は、みなさんが住み慣れた地域で安心して生活していただけるよう、人吉・球磨地域の医療・福祉機関と連携して 地域包括ケアを推進していきたいと考えています。そこで、地域の社会資源を周知していただくため、連携施設をご紹介します。

今回は「花みずき」さんです。

「花みずき」 Vol.23

【施設特色および理念】

「花みずき」について

春になると白やピンクの花が咲き誇り、私たちを楽しませてくれる「ハナミズキ」。その花言葉は『永久性』、『返礼』、『私の想いを受けてください』となっています。

これまでの人生、長きにわたりご家族のため懸命であってこられた「あなた」への、ご家族様からの愛と感謝のお気持ちの一助になりたいとの願いを込めています。

私たちは、あなたの人生（物語）を尊重し、向かい合ったケアをめざします。

私たちは、家庭的な雰囲気の中で、思いやりのあふれる日常になることを心がけます。

私たちは、温かい地域の方々との豊かな自然につつまれた中で、健康に、元気に、皆で仲良く、安心して楽しい生活ができる様、あなたの暮らしのパートナーとして支えます。

【対象者】

要支援2から要介護5の認定を受けた認知症の方

【サービスの内容】

認知症対応型共同生活介護施設

【地域の皆様へ一言】

「昨年の5月の開設より早くも1年が経過しました。開設時より地域住民の皆様には何かご支援・ご協力頂き感謝に尽きません。

この久米地区にはご高齢の方が気軽に買い物ができる商店が無くなりつつある中、いつまでも地元で買い物が出来たら



との声を聴き不定期ではありますが、当施設にて朝市を開催させて頂いております。

この朝市も地域の方に定着しつつあり、回を重ねるごとに来て下さる方が増えており職員一同喜んでおります。

今後とも、地域の憩いの場となるような施設創りを目指して参ります。どうぞ暖かい目で見守って下さればと思います。

【お問い合わせ】

TEL：0966-42-1118 FAX：0966-42-1125
施設長 松浦 暁

【訪問者からの一言】

施設名の由来となった「花みずき」ですが、地域の皆様にも恩返しをしたいという気持ちで命名されたそうです。お話を伺った際にも、その熱意がとても伝わってきました。

私が訪問した時、地域の方が施設にニッケの葉を差し入れられ、スタッフと利用者の方とおまんじゅうを作って食べられていました。施設と地域住民の交流も盛んで、地域に密着した施設だと感じました。

ラフティング部

9月15日、ラフティング日和!のはずが早朝7時半、病院駐車場に集合した時には小雨が降っており、9月中旬であるのに肌寒い。大野先生率いる人吉医療センター若衆は球磨川の水の冷たさに不安と恐怖を感じながら、尚且つそれに打ち勝つために皆で鼓舞し盛り上げながら出発地点へと向かいました。

川辺にボートを運び、記念撮影。インストラクターさんに指導していただいた頃には晴れ間が差し込み、テンションも上々。皆の思いが通じました。



いざ、川の中へ! 血気盛んな集団なだけあり、皆ボートに乗るや否や落とし合いが始まりました。水は冷たい、、、が気持ちいい! 朝の不安はどこへやら、皆きゃっさと水遊びしながら急流下りは始まりました。

なだらかな川の流れてにボートを任せ進んでいると、大きな崖岩に到着しました。体感10m程の高さからのジャンプは筋肉隆々な2年目佐藤先生でも足がすくみます。ビビる私と2年目川内先生、華麗に頭から入水を決める大野先生、恐がる男たちを尻目に冷静に飛び込む黒木さん。皆思い思いのスタイル

でジャンプしましたが、勇気を出して飛ぶと実に気持ちよく、癖になる爽快感を感じました。

そして本格的な濁流に飲み込まれるエリアに突入しました。全く予想できない川の流れとうねりに大人たちが歓喜し叫び声をあげながら濁流の中を進みます。こんなにスリリングで気持ちのいいアトラクションは初めてでした。上下するボートに振り落とされる木下先生、道連れにされる佐藤先生、水しぶきでメイクが完全に落ちた看護師の甲斐さん、水の中で大野先生に脱がされ流れる桃のようになった私のお尻。様々なハプニングがラフティングの不可欠要素であり、楽しさを倍増させました。

無事ゴール地点へ到着した我々は心地よい疲労感のもと帰りに温泉へ。球磨川を眺めながら遅めのお昼ご飯を食べ解散しました。

このような素敵な人吉の思い出を作らせていただき、大変感謝しております。このような行事を通して医療センターのスタッフ間の交流を図ることができることは大変良いことだと思えます。

またの機会でも是非参加させていただきたいと思えます。

臨床研修医 耕 佳徹



平成30年度性(生)教育講演会

8月21日 南陵高等学校高等学校で当院の大竹秀幸副院長が性教育講演を行いました。生徒の方から感想をいただきましたのでご紹介いたします。

● 1年男子

今回の講話では、性の歴史や動物の性を用いて講話をしてくださいだったので分かりやすかったです。また、自分が全然知らないことをたくさん知ることができたので、性の善悪の区別が今まで以上にできるようになりました。

これから先、生きていく中で、今日学んだことをしっかり頭に入れて過ごしていきたいです。

● 2年女子

私は、今日の講演を聞いて学んだことが2つあります。1つ目は、望まない妊娠をする人が私たちの年齢で多いということです。私たちは今思春期で、そういうことを興味だけでしてしまったり、避妊をせずする事が多いので、望まない妊娠をしないためにも気をつけ

ないといけないと思いました。

2つ目は女性の方が負担が大きいと言うことです。行為をするにしても、相手の男性に任せるのではなく、自分で避妊した方が良いんだと思いました。

● 3年女子

今日の講演を聞いて思ったこと感じたことは、性欲は食欲と同じ本能で求めているものなので恥ずかしがらなくてもいいのだと思いました。また、性についてもきちんとした知識を習得し、望まない妊娠をしないように気をつけようと思いました。他に性病についても理解し、病院などでちゃんとした検査や定期検診を受診しようと思いました。

新任紹介



あrita 大助 (脳神経外科・医師)

最終卒業校：熊本大学

趣味：バレーボール

モットー：ポジティブに考える

自分の性格：イライラしない、慌てず急ぐ
自分のコマースシャル：人吉は初めての土地なのでとても楽しみです。
これまでの経験を活かした仕事ができればと思っています。



こしほら 将士 (小児科・医師)

最終卒業校：熊本大学

趣味：ドライブ

嬉しかったこと：8月に娘(次女)が生まれました

長所：体力には自信があります。
自分のコマースシャル：山鹿市(菊鹿町)出身です。人吉への赴任を楽しみにしておりました。よろしくお願致します。



ながた 洋介 (総合診療科・医師)

最終卒業校：自治医科大学

趣味：フットサル、海外旅行、ピアノ

モットー：患者に寄り添った医療を提供する

自分の性格：明るい
自分のコマースシャル：人吉は地元でもあり、働ける事を楽しみにしています。
見かけた際は気軽に声をかけください。



いまい みゆり (協力型臨床研修医)

最終卒業校：熊本大学

趣味：旅行、走ること

モットー：笑顔

自分のコマースシャル：2カ月間だけの研修となりますが、人吉でたくさん吸収できるような頑張りますので、よろしくお願致します。



べつぷ れいか (7階・看護師)

最終卒業校：人吉看護専門学校

趣味：読書

好きな言葉：実るほど頭を垂れる稲穂かな

自分の性格：真面目だと思います
自分のコマースシャル：笑顔と元気、やる気で頑張りますのでどうぞよろしくお願致します。



かわさべ まな (外来・クラーク)

最終卒業校：人吉高校

趣味：映画鑑賞

モットー：笑顔

自分の性格：マイペース
自分のコマースシャル：早く仕事に慣れたいと思います。
よろしくお願致します。

10月の勉強会報告

10月15日(月)第65回人吉・球磨最新医療研究会

「咳と喘息の話題」

熊本大学大学医生命科学部 呼吸器内科学分野 教授

坂上 拓郎先生

